

平成27年12月（第14回）教育委員会会議議事録

1. 開催の日時及び場所

平成27年12月15日（火）17:00～20:00

宇部市港町庁舎 3階会議室

2. 出席委員の氏名

水田 和江 委員長

三原 節子 委員

赤川 宏 委員

田村賢二郎 委員

白石 千代 教育長

3. その他議場に出席した者

大下教育部長、松田教育次長、金重総務課長、村上施設課長、野村学校教育課長、吉村社会教育課長、中村学校給食課長、佐野学びの森くすのき・文化交流課長、村上図書館長、上田副館長、清水学校教育課長補佐、西村課長補佐、小林総務係長

4. 傍聴者 なし

5. 趣 旨

委員長： ただいまから、平成27年12月15日の第14回教育委員会会議を開催いたします。

本日は、5人の委員全員の出席がありますので、会議として成立していることを最初に報告します。

また、本日の傍聴の申し出はありませんでした。

委員長： 次に、議事録の承認についてですが、前回の会議でお配りしています10月20日の第12回の議事録について、ご意見等ありましたでしょうか。

（全委員異議なし）

委員長： それでは、第12回の議事録については承認とさせていただきます。

続いて、11月17日の第13回の議事録の報告についてですが、机上に配布していますので、次回までにご覧いただき、次回の会議で承認を受けたいと思いますので、よろしくお願いします。

次に、本日の会議録署名委員の指名についてですが、本日の会議録署名人は赤川委員にお願いします。

委員長： 本日の議題は、「議案第42号 特認校の取扱いについて」の1件と、その他の事項として「宇部市教育振興基本計画」（宇部市の教育に関する大綱）の策定について、「宇部市立図書館のめざす姿」について、「宇部市立小中学校の適正配置に関する報告」について、「寄附の報告について」の4件となっております。

委員長： それでは、次第に沿って、はじめに、「議案第42号 特認校の取扱いについて」、事務局から説明をお願いします。

事務局： 「議案第42号 特認校の取扱いについて」、説明します。

特認校という制度は、子どもたちが特色ある学校で活動したいという願いを持つ保護者及び児童生徒の申請により、学区を特別に変更するというものです。

これまで、厚東小学校、二俣瀬小学校、小野小学校、吉部小学校、厚東中学校、小野中学校が指定されていましたが、統合により厚東川中学校が設置されることと、万倉小学校から来年度より特認校として欲しいとの申出がありましたので、宇部市特認校就学実施要綱の変更を行うものです。

また、万倉小学校に特認校就学した者について、楠中学校への就学できるよう所要の整備を行います。

なお、今回の変更等につきましては、宇部市特認校就学制度検討協議会の了承を得ています。

委員長： 只今の説明に対し、御意見、御質問はありませんか。

委員長： 万倉小学校が、特認校の申し出をしたというのは何か理由がありますか。

事務局： 複式学級となっていることや、今年度の新入生が1人であったことなどから、学校及びPTAで協議され、特認校の申請を行うこととなったと聞いています。

委員長： 他校区から就学の希望があったのですか。

事務局： これから募集を始めることとなりますが、見込みがあるというものではありません。

委員長： よろしいでしょうか。

(全委員異議なし)

委員長： それでは、「議案第42号 特認校の取扱いについて」、原案のとおり承認します。

次に、その他の事項「宇部市教育振興基本計画(宇部市の教育に関する大綱)の策定について」、事務局からお願いします。

事務局： 第1回総合教育会議において、宇部市の教育に関する大綱の策定については、宇部市教育振興基本計画を見直したうえで、大綱とする方向で協議がされたので、基本的な考え方の整理を行いました。

まず、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等との整合の観点から、「彫刻教育推進事業」、「英語教育推進事業」、「キャリア教育の推進」、「通学路の安全対策」の重要業績評価指標を取り込んでいます。

次に、健康づくりの推進に向けた取り組みの観点から「健康教育の推進」や、「食育の推進」を取り上げています。

次に、本市のシンボルであるときわ公園の活用の観点から、ときわ公園の諸施設を学習の場として積極的に活用することとしています。

また、学校づくり・地域づくりの観点からコミュニティ・スクールの推進や、うべ協育ネットの充実を図ることとしています。

さらに、読書活動の推進の観点から、「子どもの読書活動推進事業」に重点的に取り組みます。

教育委員会において、見直しを検討したものとしては、計画策定から2年経

過し、取り組みの推進・強化等の観点から、「タブレットＰＣの活用」、「小中一貫教育の推進」、「特別支援教育、学校安心支援の推進」等に取り組みます。

次に、計画の効果的な推進を図る観点から、全般的な構成の見直しをおこなうこととしています。

委員長： 御意見、御質問はありますか。

委員： 構成の変更は、見やすくなって良いと思います。成果指標に出前授業参加者数がありますが、本文の中にどこにも出てこないのは違和感があります。

事務局： 本文の文言を修正します。

委員： 「学びの創造推進事業」で「学び合い」のある授業認定者制度を創設しますとありますが、これは、モデル的なものがあるのか、または、本市独自の取組なのでしょうか。

事務局： これは、学び合いの授業を牽引する人材を育成するということで、研修を受けて、質の高い授業が出来る教員を認定する制度を検討しているところで、他のモデルを参考とした者ではありません。

委員： 健康づくりの観点に取り組むということで、以前に健康づくりの視点が弱いと提案したことが反映されたと思いますが、体力向上における健康づくりとして捉えられていて、心身の健康づくりとは少しニュアンスが違うように思います。

事務局： 項目を新たに作ることは、難しいところもありますので、文章の表現を検討します。

委員： 道徳の教科化について、教員の実践力が求められることとなりますが、規範意識についての記載はありますが、具体性がなく、どのように取り組んでいくのか、教員にも見えてこないと指導は困難だと思います。

委員長： 道徳教育の充実について、取り組みの記載がありますので、今回の見直しでは、この表現で良いのではないのでしょうか。

委員： ときわ公園に関するところで、植物教育はあるが、動物園に関する記載がないので、どこかに入れられないのでしょうか。

事務局： 検討します。

委員： 施策の展開のところで、いじめという表現がなくなっているが、どういう意図がありますか。

事務局： 学校安心と特別支援で表現を合わせた形にしたところです。

事務局： 表現については、再度検討します。

委員長： 小中一貫教育のところで、具体性が乏しいように思いますが、今後の検討ということでしょうか。

事務局： 平成２９年度から、協議会等で検討していくことになると思います。

委員長： 特別支援のところで、支援手帳に関することが、保健センターが中心となっていて、学校教育との連携が記載されていないので、学校としてどのような支援のつながりが出来るのか考えていただきたいと思います

教育支援委員会の役割が記載されていないが、重要な役割を担うと思いますので記載をお願いします。それと、図表の中に特別支援教育推進室がでていないので、修正をお願いします。

うべ協育ネットについて、コミュニティ・スクールとの違いを、分かりやすく図にしてもらえたらと思います。

委員長： よろしいでしょうか。

つづいて、「宇部市立図書館のめざす姿」について、お願いします。

事務局： 「こんな図書館あったらいいな」市民ワークショップを今年度開催し、多様な意見をいただきました。これについて、様々な制約はありますが、実現するとするならということで、工程表を整理しました。

今後は、教育委員会会議や、図書館協議会で意見をいただきながら、まとめていきたいと考えています。

委員長： 御意見、御質問はありますか。

委員長： 「学びの森・くすのき」との関連は何かありますか。

事務局： 「宇部市立図書館のめざす姿としていますが、当然、図書館機能としての部分では「学びの森・くすのき」と連携します。

教育長： 「宇部市立図書館のめざす姿（案）」について、青少年に関する記述が、少し弱いと思います。図書館に求められる機能として、学習の場を提供することもありますので、どこかに表現して欲しいと思います。

事務局： 検討します。

委員： 自動貸出を行うには、相当の費用がかかるのでしょうか。

事務局： 以前の見積りでは、1億円以上の算定となりました。

委員： 自動貸出等が導入できれば、レファレンスが充実していくと思います。

事務局： 引き続き検討します。

委員長： よろしいでしょうか。

次に「宇部市立小中学校の適正配置に関する報告」について、お願いします。

事務局： 「見初小学校・神原小学校統合準備協議会」の委員から「見初小学校・神原小学校の統合に関する要望と質問」が提出され、回答したことは既にご報告のとおりですが、その回答について、12月7日付で再度質問がありました。

これについて、教育委員会としては、通学区域の変更ではなく、統合で適正配置を行うという方針に沿って回答したいと考えています。

見初小・神原小統合準備協議会では、一部委員が録音機を持参しており、他の委員が発言しにくい雰囲気になっています。また、一部では、恩田校区の一部を分離して、見初校区に編入するという意見があります。

教育長： これまで、時間をかけて議論をおこない、「宇部市立小中学校の適正配置に向けた方針」を定めて、統合について検討してきたわけですから、今後もそれを踏襲する必要があります。

委員長： これまで議論してきたことを踏まえて、さらに説明を続ける必要があると思

いますし、地域全体としての意見を、よく確認する必要もあると思います。

事務局： 小野中学校・厚東中学校統合準備協議会についてですが、予定していた協議について、すべて終了いたしました。

閉校式については、厚東中学校が３月２６日、小野中学校が翌日の３月２７日、厚東川中学校の開校式が、４月８日を予定しています。

委員長： よろしいでしょうか。

次に「寄附の報告」についてお願いします。

事務局： 平成２７年１１月分寄附について、資料に記載のとおり１件の寄附がありましたので報告します。

委員長： その他なにかありますか。

事務局： 平成２８年度宇部市立小中学校人事異動方針について、ご説明いたします。

今回の変更箇所としましては、資料の、「学びあいのある授業づくりによる確かな」というところで、県教委とあわせるため「確かな」という文言を追加しています。それから、「新規採用者については、学校の育成環境等を踏まえ、実践的指導力を高めることができるよう」の箇所で、「実践的指導力を高めることができるよう」という文言を同様に追加しています。

また、教職員の公募型人事異動制度について、宇部市では、小中学校１０校が公募しているところです。

委員長： 他になにかありますか。

事務局： １２月１３日付で、長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会から朝鮮学園への補助金の支給再開を求める要望書が出ましたので報告します。

委員長： よろしいでしょうか。

委員長： 以上を持ちまして、本日の教育委員会会議を閉会とします。